

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	赤十字・献血促進事業			事業番号	007-007
担当部署名	市民人権	局	市民生活	部	市民協働 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
			有	取組	健康寿命延伸に資するサービスの社会実装		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画		—				
3	事業開始年度		昭和 47 年度	点検年度	令和 5 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	献血可能な基準を満たす市民
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	輸血血液の計画的な確保、献血思想の普及およびその推進を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 安全な血液製剤の安定供給の確保および市民の献血への理解と献血推進を図るため、校区自治連合会を中心とした市民で構成する堺市献血推進協議会に対し、補助金を交付。 献血促進に向けた各種広報を実施。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市献血推進協議会
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	
11 地域献血における献血協力者	人	目標値	-	-	2,020		2,020
		実績値	2,153	1,507			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由		輸血血液の確保を図る指標となるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標算出方法＝4年（H28～R1）平均値を上回る（端数切捨て）。※R3年度に目標値の算出方法を変更。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 献血街頭広報活動の参加人数	人	目標値	-	-	150		
		実績値	155	0			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由		広報活動の参加者が増えることにより、献血に対する理解が深まることにつながり、ひいては地域献血協力者数の増加に効果があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標算出方法＝4年（H28～R1）平均値を上回る（端数切捨て）。※R3年度に目標値の算出方法を変更。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	赤十字・献血促進事業	事業番号	007-007
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 財源内訳	500	500	500	500	450
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	500	500	500	500	450
14 人件費 (b)	4,100	2,835	3,690	4,100	4,100
15 年間経費(c)=(a)+(b)	4,600	3,335	4,190	4,600	4,550

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	R3				R2	R3		
16	堺市献血推進協議会事業補助金	R2	決算	500	500		R2	決算		
		R3	予算	450	450		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 地域献血における献血協力者	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	927	765
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	431	508
備考 (算出についての説明等)		② = (地域献血回数×1人×時間単価×2時間) + 補助金	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>コロナ禍により、例年よりも活動回数が少なくなり、献血協力者数も落ち込んだためコストが上がった。しかし、校区自治連合会等の協力を得ることで、地域献血の実施回数は減ったとはいえ、1回あたりの献血協力者数は前年度を上回っている。</p> <p>引き続き、献血を実施する際に、大阪府赤十字血液センターと協力して3密対策等のコロナ対応に取り組み、コロナ禍において献血協力を得られやすい環境を整えていく。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>赤十字・献血促進事業が対象とする献血事業は、堺市SDGs未来都市計画の取組である「健康寿命延伸に資するサービスの社会実装（3-15）」に関する施策の一つに位置付けられており、若年層をはじめとする多くの市民に対して、献血の啓発・周知活動を推進していくことで、将来にわたって献血者を確保することにつながり、ひいては市民の健康寿命延伸に貢献する取組となっている。</p>
----	---